

2016年9月1日

各位

KNOWLEDGE CAPITAL
ナレッジキャピタル

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社 KMO

グランフロント大阪 知的創造・交流の場「ナレッジキャピタル」
世界最高峰のメディアアートの祭典
「アルスエレクトロニカ・フェスティバル 2016」に2年連続参加決定
～ナレッジキャピタル発の「こたつ会議」をオーストリア・リンツ市で再現！～

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原 秀夫)ならびに株式会社 KMO(代表取締役社長:三好 雅雄)は、オーストリア・リンツ市のクリエイティブ・文化機関「アルスエレクトロニカ」が開催する世界最高峰のメディアアートの祭典「アルスエレクトロニカ フェスティバル 2016」への2年連続の参加が決定しましたのでお知らせします。



飛鷹 全法氏



落合 陽一氏

「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」は、毎年9月に開催されるメディアアートの世界的な祭典で、1979年の初開催から今年で35回目を迎えます。昨年の来場者は世界各地から92,000名を数えるなど、リンツの街全体が盛り上がるイベントとして大きく成長しています。

ナレッジキャピタルは、開業前からのアルスエレクトロニカとの関係性を継続しており、2014年11月からはコラボレーション企画展示「ARS ELECTRONICA in the KNOWLEDGE CAPITAL」を定期的で開催するなど交流を深めた結果、昨年の「アルスエレクトロニカ・フェスティバル 2015」へ招聘され、ナレッジキャピタル初の海外出展が実現しました。会場では、世界に誇る日本の技術展示や事業紹介など、ナレッジキャピタルのイノベーション創出に向けた活動を紹介し、一般の来場者の他、現地メディアやアーティスト・研究者などから広く注目されるコンテンツとなり、今年もアルスエレクトロニカにとっての重要な国際コラボレーションパートナーとして「アルスエレクトロニカ・フェスティバル 2016」に継続して招聘され、2年連続での参加が決定しました。

「アルスエレクトロニカ・フェスティバル 2016」では、ナレッジキャピタルが企画・開発し、開業以来グランフロント大阪内で開催してきた、日本伝統の会話のプラットフォーム「こたつ」を囲んで語り合う『こたつ会議』を現地で再現します。ナレッジキャピタルの参画者からは、「現代の魔術師」と称されるメディアアーティストの落合 陽一氏が「こたつ会議亭主」として、ゲストには東京大学法学部時代にITベンチャーを立ち上げるなど異色の高野山高祖院住職の飛鷹全法氏のほか、アルスエレクトロニカからのゲストも参加して、「未来のOMOSIROI」をテーマにトークを展開します。



過去のこたつ会議の様子

本フェスティバルをきっかけに、日本文化と融合した『こたつ会議』をナレッジキャピタル発の「新しい対話の場と機能」として世界へ発信し、世界各国のさまざまな機関とのコラボレーションを推進しています。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当:奥村 電話:06-6372-6427/FAX:06-6359-2970

※ナレッジキャピタルは、2013年4月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者12社の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと、株式会社 KMO において運営しています

■アルスエレクトロニカ・フェスティバル 2016

「RADICAL ATOMS and the alchemists of our time」 ～ラディカル・アトムズ、そして、私たちの時代の錬金術師たち～

デジタル革命によって変容する文化、社会の状況、そして浮かび上がる様々な課題。人々がそれらと向き合う中、次世代の科学者やエンジニアたちは「デジタル」と「物理世界」との融合という新領域について探求し、「ビット(デジタルデータの最小単位)」と「アトム(物質を構成する最小単位)」を繋ぎ、自然の物質から新しいハイテク素材を生み出しています。

「アルスエレクトロニカ・フェスティバル 2016」は、「Radical Atoms」が示す技術的な概念だけでなく、この領域に関わる「人たち」にも着目し、歴史を遡って「錬金術師たち」にスポットライトを当て、私たちの時代の錬金術師たちとは何か。そして、彼らは世界を変えるためにどう貢献してゆくのだろうかを考えます。

会期： 2016年9月8日(木)～12日(月) ※現地時間

会場： オーストリア リンツ市 オーストリア郵便局 中央集荷場跡地(リンツ中央駅周辺) 他

■ナレッジキャピタルコンテンツ 『Knowledge Capital KOTATSU Conference』

日時： 2016年9月10日(土) 16:30～19:00 ※現地時間

【出演者プロフィール】



落合 陽一

メディアアーティスト/筑波大学助教/デジタルネイチャー研究室主宰

1987年東京生まれ。2015年より筑波大学に着任。コンピュータとアナログなテクノロジーを組み合わせ新しい作品を次々と生み出す。経済産業省「Innovative Technologies 賞」など、国内外で受賞多数。



飛鷹 全法

高野山高祖院住職/高野山三宝院副住職

東京大学法学部卒。大学院では比較日本文化論を専攻。大学院在学中よりITベンチャーを立ち上げ、その後、伝統文化の舞台プロデュースを行う。現在、地域ブランディング協会理事。



マーティン・ホンツィック

「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」ディレクター

毎年リンツの街のさまざまな場所にスポットを当て、街のひとを巻き込みながらフェスティバルを作り上げる。



ガリア・エルスラクビ

グラフィックデザイナー、研究者、教育者

オランダ・アーネムの ArtEZ 芸術専門学校にて、BA グラフィックデザインを専攻後、アムステルダムの サンドバーグ・インスティテュートにてデザインの修士号を取得。2009年、マーストリヒトのヤン・ファン・エイク・アカデミー(大学院)の研究課程に在籍し、エジプト・カイロとアムステルダムに拠点を置くアートとデザインの実践的グループ「Foundland Collective」を共同設立。2014年からはカイロに拠点を移し、カイロ・アメリカン大学で教鞭をとっている。

アルスエレクトロニカ(ARS ELECTRONICA)とは



オーストリア・リンツ市に拠点を置く、メディアアートの世界最高峰の機関。毎年9月にアート・テクノロジー・社会をテーマに行われる「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」の他、美術館・科学館としての「アルスエレクトロニカ・センター」、メディアアートの最先端コンペティションである「プリ・アルスエレクトロニカ」、R&D 機関である「フューチャーラボ」の4部門があり、日本からも多くのアーティストが参加している。

【施設概要】

施設名	ナレッジキャピタル	
所在地	〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館	
施設案内	The Lab. みんなで世界一研究所 (アクティブラボ・カフェラボ・イベントラボ)	地下1階～3階
	フューチャーライフショールーム	1階～6階
	ナレッジシアター	4階
	ナレッジサロン	7階
	コラボオフィス・コラボオフィスネクス	7階～8階
	カンファレンスルーム	8階・10階
	ナレッジオフィス	9階～13階
	コンベンションセンター	地下1階～地下2階
運営組織 代表者	一般社団法人ナレッジキャピタル 代表理事 宮原 秀夫	
運営組織 代表者	株式会社 KMO 代表取締役 三好 雅雄	
開発事業者 (五十音順)	NTT 都市開発株式会社 株式会社大林組 オリックス不動産株式会社 関電不動産開発株式会社 新日鉄興和不動産株式会社 積水ハウス株式会社 株式会社竹中工務店 東京建物株式会社 日本土地建物株式会社 阪急電鉄株式会社 三井住友信託銀行株式会社 三菱地所株式会社	